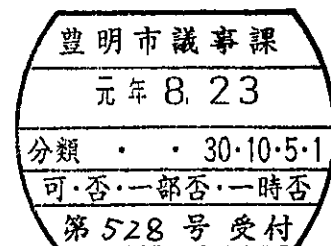


豊明市議会議長 殿



行政等視察報告書

議員名 中村 めぐみ

令和元年度豊明市議会政務活動費にて下記のとおり行政等を視察しましたので報告します。

年 月 日	視察先	視察項目及び成果等
令和元年 7月25日	福井県福井市タナカ農産グループ	<p>集団営農について ※地域で協力し合いながら農業が成り立っていて、無農薬米・有機栽培米の米作りに成功していた。</p>
令和元年 7月26日	兵庫県小野市	<p>小野市の行政経営について ※市民を顧客ととらえ、民間出身の市長が、今までの経験を生かして行政改革していた。</p> <p>詳細別紙参照</p>

(注) 別紙添付も可能とします。

(注) 本報告書は5年間公開します。

市民派の会視察報告書

中村 めぐみ

福井県福井市タナカ農産グループ (R.1.7.25 視察)

1. グループの概要

タナカ農産グループは、福井市下東郷町にあり、タナカ株式会社を中心とするグループ企業の一つ。先祖代々、農業を営む。設立は昭和62年で、全国に先駆けて無農薬米・有機米栽培を生産者300余名で栽培開始と全国の消費者に産地直送販売開始。平成26年に、東郷地区生産者で農地の集積・集約化を進め「東郷くらぶ」設立。平成29年に、タナカ農産グループが日本で最初のJAS有機米の無菌化包装米飯（パックご飯）を開発。

2. 視察テーマ「集団営農」について

- ・田中源美氏を担い手として、現在32名で約30ヘクタールの農地基盤整備と、田の1筆当たりの面積を拡大して、無農薬米・有機栽培米の栽培効率化、低コスト化に地域を挙げて全力で取り組み中。
- ・「東郷くらぶ」は、先代からの農地の維持管理を行い、次世代に引継ぐ。「東郷くらぶはお互い助け合いの互助の精神」
- ・東郷くらぶ員（家族も含む）の協同作業で栽培。各農地の委託・受託は1年毎に見直し確認する。入会金・出資金はなく、借入金・負債もなし。収益金は面積割で全員に全額配当し、利益金は原則残さない。経費も面積割。
- ・地代は1反10,000円/年、賃金はオペレータ1,500円/時、並人足1,000円/時、水廻り500円/時。役員年俸制はなく、代表者・各役員も時間賃金で計算。
- ・栽培には3パターン
 - (1)病気・ケガ・転勤・老齢等の諸事情で、家族が誰も人足にでられない時は、東郷くらぶに1年間全作業をまかせる。
 - (2)東郷くらぶから農地を借り受けて、全作業を自分で行う。
(自分の思い通りの栽培方法や、自分の休日に合わせて自由に栽培できる。)
 - (3)東郷くらぶから田や農作業を決めて一部分の作業を請け負う。
- ・水稲だけを栽培し赤字が出る場合は、水張り休耕田等にして、農地の維持管理だけを行い、利益が出るようになった時点で、稲作を再開する。

3. 視察の所感

ほぼ兼業農家なのに、若い人からお年寄りまで助け合いで農業が成り立っていることにびっくり。代表者がカギだと思った。豊明でも良い代表者がいればこのような農業が可能ではないかと思う。

兵庫県小野市 (R.1.7.26 視察)

1.市の概要

県の中南部に位置し、市の西部には加古川が流れ、豊かな自然と温暖な気候に恵まれた田園都市。そろばんと家庭用刃物の産地として古くから栄えた。面積 93.84 km²、人口約 48,560 人、世帯数約 19,951 世帯、市議会議員数 16 名。

2.視察テーマ「行政経営」について

- ・小野市の行政経営戦略－4つの柱－は、(1)顧客満足度志向(2)成果主義(3)オンリーワン(4)先手管理。

(1)顧客満足度志向「市民＝顧客」ととらえた「市役所は市内最大のサービス産業の拠点」

- ・本庁舎を除く全市施設の全日開館と開館時間の延長、県内初の市民課窓口の土曜開庁。
- ・県内初の高校3年生までの医療費を所得制限なしで無料化。就学前4・5歳の幼児教育・保育料を所得制限なしで無料化。(3歳以下も、負担すべき保育料の3割を市が負担。)

(2)成果主義「何をやっているのか」ではなく「何をもたらしたか」

- ・入札制度改善で落札率を70%台まで低下。
- ・国、県、他市に先駆け職員数を削減。能力成果主義の本格導入。

(3)オンリーワン「ここしかない小野らしさ」を追求する行政

- ・全国初、小中一貫した教育システム「おの検定」(認知症予防にも活用)子どもの発達段階に応じた「9ヵ年カリキュラム」に基づく、「小中一貫教育」を市内全4中学校区で実施。
- ・小野市を変えようと、行政主導型であった「小野まつり」を市民主導型へ。

(4)先手管理 言われてからやるのではなく、言われる前にやる、「後手から先手管理」への転換

- ・「いじめ」こそ人権侵害の根源であるとの観点に立ち、大きな問題が起きる前に防止対策を講じる先手管理として、条例を制定。
- ・政務活動費を廃止。活動計画は議員自らが企画・審査し、実行。「目標を定めたターゲティングワーク」への転換。

3.視察の所感

小野市の数々の試みと実績は、民間出身の市長だからこそその感覚とリーダーシップによるものが大きいと感じた。興味をひくものが多々あり、参考にしながら豊明市でも考えていかなければと感じた。